

「日本一の知恵工場」に学ぶ！

～その4～ 社長と社員の



人生道場

(株)タニサケ会長

松岡 浩
Matsuoka Hiroshi

次にご紹介するのは「人はただ愛する人からだけ学ぶのだ」という大変厳しい言葉です。人の上に立つ全ての人に言えることです。部下は愛を感じてくれません。

だから、常に気配りや心配りをして、部下を喜ばせようと思識することが大事なのです。

もう一つ、「学び続ける人こそ、人を教える資格がある」という言葉もあります。

社長は常に進化しなければなりません。そのためには学び続けることが不可欠です。

私もよく講演を頼まれるのですが、行く先々で必ず新ネタを

学ぶためには

体験以上の方策はなく

実践しなければ成長はない

入れます。

新ネタはウケることもあるし、ウケないこともあります(笑)、とにかく毎回同じネタじゃダメだということです。

たとえば学校の先生たちも、生徒に教えることは毎年同じかもしれない。でも言葉の端々に常に新しい情報を入れるべきです。

そうでないと自分自身の成長がないのです。1年1年成長するとい

いう意識が「新ネタへの挑戦」ではないかと私は思っています。

＊

「何かを学ぶためには体験以上の方策はない」

これはアインシュタインの言葉です。いくら本を読んでも体験しなければ成長しないということです。

ユダヤの格言で、「ゼ口から1への距離は1から1000まで

の距離よりも遠い」という言葉があります。

私も、ある社員に対してなかなか朝のあいさつがでなかつたことがありました。

でも思い切つてある朝、「おはようございます」とあいさつすると翌日からは楽にできるようになりました。

足を一歩踏み出せばあとは楽なんです。思い切つて実践してみるのが大事です。

実践の失敗による後悔は時間とともに消えます。でもやらずに傍観者となつたことの後悔は、あのときをやつておけばよかつたといつまでも続きます。

とにかく「いいな」と思ったことはやればいいのです。

「君は試してみたことがあるか？結果を否定する前に少なくとも実験だけでもしてみたまえ」という言葉がありますが、もつともです。

＊

ホンダの創業者・本田宗一郎も

言っています。

「人生は見る・聞く・試すの三つの知恵でままとまつているが、多くの人は見たり聞いたりするばかりで、一番重要な『試す』をほとんどしない」と。

いくら教わつても、試さなければ成長はないのです。

だから私はこう言います。「二動一進。一つ動けば一つだけ成長するということです。」

これからはちよつと意識をして思い切つていろんな実践をしてみてください。社長であれば「社員が喜ぶかな」と思ったことはすぐやることです。

私はトイレ掃除の重要性を以前から教えてもらっていたのですが、ずつと実践できずにいました。それで、まずは事務所のごみ箱を洗つことから始めました。1年ほど経つた頃、ようやく女性の社員さんが気が付き、ごみを捨てて洗うだけの状態にしておいてくれるようになりました。とても嬉しかったです。

いいことは見せびらかしてやらず、密かにやるのが大事です。それに気付いた社員さんがどんどん変化していきます。私は今ではトイレ掃除歴26年です。

(宮崎県職業能力開発協会が開催した講演会より)